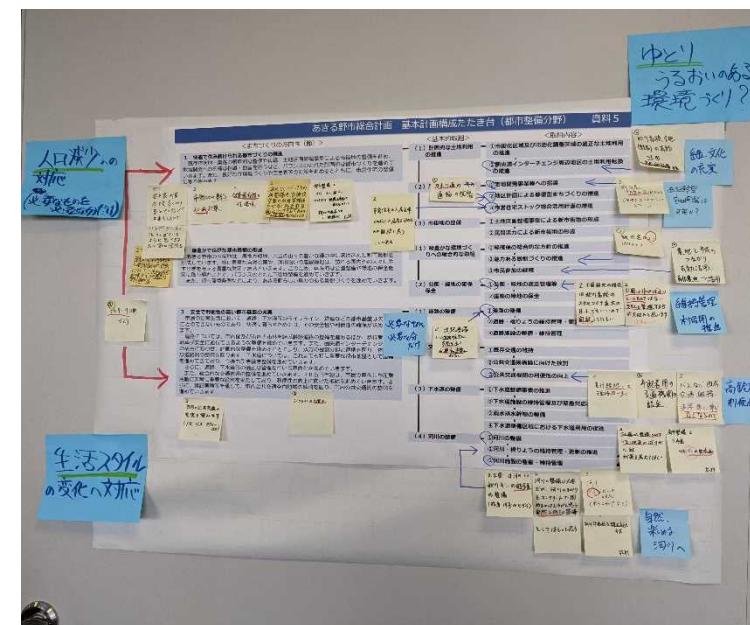


◆開催目的：昨年度のタウンミーティング等における検討内容が第二次総合計画において、どのように反映されているのかを確認するとともに、第二次総合計画基本計画骨子案の説明及び基本計画に盛り込むことが望ましいと考えられる事業のアイデアについての意見聴取を行った。

◆開催概要

タウンミーティング等の種別	ワーク内容	日程・参加者数	
令和2年度あきる野市民ワークショップ	<p><b>ワーク①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画のたたき台（行財政を除く、都市基盤、産業振興、市民生活・環境、保健福祉、教育・文化の5分野）について、「もっと充実した方がよいこと」「市民が応援できること」「関連する分野の市民活動のうち、行政に応援してほしいこと」がないか、という視点で確認を行い、個々人が意見を付せんに書き溜めた。</li> </ul> <p><b>ワーク②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見を書き溜めた付せんを共有し、ファシリテーターの進行のもと、論点（グループ）の整理が行われ、論点に係る意見交換を行った。</li> </ul>	<p><b>中部・東部合同</b> <b>(西火留・増戸・東火留・多西)</b></p> <p><b>【開催日時】</b> 令和2年12月13日（日） 9：30～0：30</p> <p><b>【参加者数】</b> 11名</p>	<p><b>西部</b> <b>(五日市・戸倉・小宮)</b></p> <p><b>【開催日時】</b> 令和2年12月20日（日） 9：30～0：30</p> <p><b>【参加者数】</b> 8名</p>
令和2年度あきる野市職員ワークショップ	<p><b>ワーク①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行財政を除く5分野について、テーブルごとに担当分野を振り分け、市民ワークショップで整理された論点を確認した上で、議論を深めたい重要テーマ（複数の行政分野にまたがる論点）を抽出。</li> </ul> <p><b>ワーク②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>抽出した重要テーマについて、具体的な取組の方向性を検討した。</li> </ul>	<p><b>【開催日時】</b> 令和3年1月27日（水）9：00～0：00</p> <p><b>【参加者数】</b> 20名</p>	

◆ワークショップの様子



## ◆市民ワークショップ結果概要① 【分野別の論点】

分野	論点（グループ）	関係する施策（施策名称はWS開催時点のたたき台のまま）
都市整備	人口減少への対応（必要なものを必要な分だけ）	計画的な土地利用の推進、居住環境の整備
	ゆとり（うるおいのある環境づくり）	
	緑・文化の充実	
	生活スタイルの変化への対応	計画的な土地利用の推進
	土地活用のビジョン	
	市民参加の制度	緑豊かな環境づくりへの総合的な取組
	維持管理・利活用の推進	
	修繕・見直し	道路の整備
	必要なものを必要な分だけ	
	高齢者の利便性	交通体系の整備
	新規開通を（南北、免許返納、るのバス）	
	治水と親水の両立	河川の整備
台風対策/安全で楽しめる河づくり		
産業振興	商店のなくなった地域への支援	産業振興の推進
	サテライトオフィスとしての活用	新たな企業・事業者の育成支援
	空き店舗の活用方法	商業環境の整備、経営安定化の支援
	魅力ある店舗づくり	
	回遊への工夫	総合的な観光まちづくりの推進
	プロモーション（シティ）	
	観光×商業による活性化	楽しく歩けるまちづくりの推進、豊かな観光資源・自然文化の保全と魅力の創出、生産環境の整備
	就農と販売先の拡充	生産環境の整備、多様な農業者の育成・確保、魅力ある農業経営の確立
	農のある暮らし	魅力ある農業経営の確立
	あきる野産の用材の活用の途（例：イス・机等身近に活用）を拓く	森林の整備、公益的機能の維持強化、林業経営基盤の整備
	市民ボランティア（保全）+新たな森林スポーツ（活用）	公益的機能の維持強化
河川の適切な活用（魅力発信）をどうしていくか	魅力ある川づくりの推進	

## ◆市民ワークショップ結果概要① 【分野別の論点】

分野	論点（グループ）	関係する施策（施策名称はWS開催時点のたたき台のまま）
市民生活・環境	「地域コミュニティ」（既存組織、代替機能）	地域コミュニティの活性化
	多文化共生	多文化共生社会の推進 防犯対策の推進
	ニューノーマルを活かした空き家活用	空き家対策の促進
	空き家対策	空き家対策の促進
	循環（不法投棄対策、資源の活用等）	ごみの減量化と適正処理の推進、リサイクルの推進
	循環型社会を実現するための「地域コミュニティ」の重要性	ごみの減量化と適正処理の推進、リサイクルの推進
保健福祉	身近な支援	多様な社会参加・生きがいのづくりの推進、住み慣れた地域で高齢者が自立的に暮らすことのできる支援、高齢者や介護者を地域ぐるみで支える仕組みづくり
	ユニバーサルデザイン	高齢者や介護者を地域ぐるみで支える仕組みづくり
	高齢者・障がい者を地域で見守る	高齢者や介護者を地域ぐるみで支える仕組みづくり
	障がい者支援サービスの充実・推進	自立生活の支援
	社会参加	社会参加の支援
	制度が先？技術（自動運転）が先？	社会参加の支援
	地域ぐるみの様々な担い手	保健・医療提供体制の充実、子ども・子育て家庭が社会全体に見守られ、安全に安心して暮らせる環境の整備
	きめ細かく かつ 幅広く	保健・医療提供体制の充実、全ての子どもたちが希望に満ちあふれ健やかに育つ環境の整備
	子育て家庭への支援	全ての子どもたちが希望に満ちあふれ健やかに育つ環境の整備
	ますます必要（ひとり親家庭、生活困窮者支援）	全ての保護者が子育てを楽しみ子どもと共に成長できる環境の整備、総合的な地域福祉の推進
多様に（子育て世代への支援）	子ども・子育て家庭が社会全体に見守られ、安全に安心して暮らせる環境の整備	
教育・文化	女性の働く環境の充実	男女共同参画社会の実現
	生涯学習の人財育成「市民」が教える側に	生涯学習の推進
	個性を引き出す教育の充実	教育内容の充実
	対面とリモートの適切な活用	教育内容の充実
	文化財の保護・啓発	文化財の保護・活用の推進
	伝統芸能の活性化	文化財の保護・活用の推進
	団体や活動の支援	芸術文化の振興
	地域活性（花火、プロスポーツ）	芸術文化の振興、スポーツの推進
	スポーツ環境の整備	スポーツの推進

## ◆市民ワークショップ結果概要②

### 【施策別の意見数】

- ・市民からの意見が特に多かった施策のキーワードを整理すると、「水と緑に密着した生活環境」「消費者志向の都市型農業」「地域特性を活かした観光の振興」等が上位を占めた。

番号	散布図名	合計		番号	散布図名	合計	
		意見数	順位			意見数	順位
1	計画的な土地利用の推進	7	12	17	ごみの減量と適正処理の推進	14	6
2	良好な市街地の整備	5	21	18	水と緑に密着した生活環境づくりの推進	24	1
3	緑豊かな都市環境の形成	7	12	19	高齢者が安心して生活できる支援の充実	16	4
4	道路の整備	3	24	20	障がい者が安心して生活できる支援の充実	7	12
5	公共交通網の充実	6	17	21	健康づくり・保健の充実	2	27
6	下水道の整備	2	27	22	市民が安心できる地域医療体制の充実	2	27
7	地域特性を活かした企業の誘致と既存企業への支援	6	17	23	子育て支援の充実	13	7
8	活力ある商業の振興	12	8	24	総合的な地域福祉の推進	1	31
9	地域特性を活かした観光の振興	18	3	25	人権尊重の推進	1	31
10	消費者志向の都市型農業の推進	22	2	26	男女共同参画社会の実現	2	27
11	自然と調和した林業の育成	15	5	27	国際化の推進	3	24
12	防災対策の推進	6	17	28	生涯学習の推進	8	11
13	交通安全の推進	1	31	29	次代を担う青少年の育成	4	22
14	防犯対策の推進	4	22	30	義務教育の充実	12	8
15	公害防止の推進	0	34	31	文化財の保護と活用	7	12
16	コミュニティ活動の推進	12	8	32	芸術文化の振興	3	24
				33	スポーツ・レクリエーションの振興	7	12

※ 表中の「散布図名」（施策）は平成30年度に実施した市民アンケートで提示した名称であり、市民ワークショップ時に提示した基本計画たたき台（施策体系）とは異なるため、事務局にて市民ワークショップの意見を「散布図名」（施策）に割り振って集計を行った。

## ◆職員ワークショップ結果概要①

分野	重要テーマ（市民WSで整理された論点に基づく）	意見概要（取り組み案）	連携等、係ることが考えられる担当部署
都市整備 産業振興	生活スタイルの変化に対応した土地活用のビジョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林業を活用し、ログハウスを利用したサテライトオフィスの整備</li> <li>・ 法人向け（会員制）に企業が所有（賃貸）</li> <li>・ イベント開催（「あきソニ」）</li> <li>・ 試験的利用の開始</li> <li>・ 二拠点生活（農に興味のある人の移住促進）</li> </ul>	商工振興課、管理課、企画政策課
都市整備	人口減少への対応（必要なものを必要な分だけ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家の買取・解体、移住者に安く提供する</li> <li>・ 空き家バンクの活用</li> <li>・ リノベーション</li> <li>・ ファミリー層へのPR</li> <li>・ 車通勤（インター利用）の方へのPR</li> <li>・ 山梨、長野近県の方へのPR</li> <li>・ 車を利用する生活の良さを宣伝する</li> <li>・ キャッチコピーをつくる</li> </ul>	都市計画課、施設営繕課、市長公室
都市整備	高齢者の利便性（交通）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タクシーの利用補助（「るのタク」）</li> <li>・ タクシー会社との連携</li> <li>・ 本数と人件費のバランスを考える</li> <li>・ 時間帯を絞り、密度を増やす（高齢者利用が多い） →朝の需要が多い時間はるのバス、昼の需要が少ない時間はるのタク</li> </ul>	公共交通に係る部署
都市整備 保健福祉	交通整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動運転の推進（自動運転のバス停を活用、隣接市へ行ける交通網整備）</li> </ul>	福祉総務課
産業振興	プロモーション（シティ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 里山に接する機会を提供（「初めての山歩き」など、ライトなアウトドア感を都内の家族づれにアピールし、集客につなげていく）</li> <li>・ 都心からいちばん近い農業体験（家族の畑、「うちの山畑」感を演出し、結びつきを強める）</li> <li>・ 地元の歴史文化に寄り添う（多摩広域、秩父も巻き込んだ歴史街道としての演出を検討、近隣市町村と連携し歴史ストーリーを編纂し、各スポットの魅力を増大させる）</li> <li>・ プロモーションのデジタル化（SNSとの親和性が高く、利便性も高いデジタルコンテンツ（動画、VR等）を活用したプロモーション）</li> <li>・ 古き良き伝統を伝える（自然や歴史文物、伝統を受け継ぐ人々の暮らしも、都心住民には魅力と捉えられるため、これらを活用してアピールしていくことで、移住人口、観光客の増大につなげる）</li> <li>・ 「映画のまち」としてのアピール強化（ロケ地の斡旋、レンタル機材等も揃え、映画を撮りたいという人を支援）</li> <li>・ 河川の活用（ライトなアウトドア層に対するプロモーション強化、サテライトオフィス・ワーケーション利用の誘致、収益はごみ処分等に充て、環境維持も）</li> </ul>	観光まちづくり推進課、市長公室

◆職員ワークショップ結果概要②

分野	重要テーマ（市民WSで整理された論点に基づく）	意見概要（取り組み案）	連携等、係ることが考えられる担当部署
産業振興 保健福祉	空き店舗の活用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シェアオフィス事業（コロナ禍でテレワーク等、オフィス出勤が必須ではなくなり、居住地選択にも変化が現れる中、空き店舗を活用した支店の誘致やシェアオフィス事業を支援する）</li> <li>・子育て家庭への支援（空き店舗を活用した起業支援、起業を促進するために託児所整備などを一体で取り組む）</li> <li>・大規模商業施設誘致により人の流れをつくる（旧来の自然や文化にも配慮しつつ）</li> <li>・飲食店支援の強化（地元産食材利用の推奨、地産地消）</li> </ul>	商工振興課、福祉総務課、市長公室
都市整備 市民生活・環境	治水と親水の両立 緑環境の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理や環境保全（活動支援、担い手確保等）に充当するため、バーベキュー場等の利用を有料化</li> <li>・若年層に対する、環境保全活動等への関心を高めるため、子どものうちから体験型で楽しく参加できる機会を増やす</li> <li>・既存の市民団体等と棲み分けを行った上で、環境保全等に関心はあるが活動参加をちゅうちょする層が気軽に参加できる機会を創出する</li> </ul>	企画政策課、市長公室、環境政策課、農林課、管理課
都市整備 市民生活・環境	生活スタイルの変化への対応 ニューノーマルを活かした 空き家活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区画整理、交通手段、利活用検討を一体的に実施</li> <li>・空き家空き店舗活用に関する事例の共有、発信</li> <li>・市が買い取り、活用希望者に払い下げる</li> <li>・空き家情報だけでなく、周辺環境（買い物、医療機関、教育施設等）に関する情報を一体的に発信する</li> </ul>	都市計画課、建設課、地域防災課、市長公室、こども政策課、商工振興課
市民生活・環境	「地域コミュニティ」・多文化共生	<p>&lt;コミュニティ全般&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内における多言語対応の共有（例：書類は共通化できる部分は共通にする）、共同化（例：複数部署が一堂に会して外国人住民からの相談にワンストップで対応できる合同説明会）</li> </ul> <p>&lt;多文化共生&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に若い世代向けに、同世代（普段は地域外に住んでいる方も含めて）が交流できる機会の創出</li> <li>・商店街等とのコラボレーションによる企画の検討、実施</li> </ul>	市民課、課税課、徴税課、福祉総務課、観光まちづくり課、地域防災課、商工振興課 等
都市整備 保健福祉	地域の多様なつながりを深める	<p>&lt;場所（集い、仕事の場）づくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の活用</li> <li>・場所探し、マッチング支援</li> <li>・移送サービスの免許化（警察等との協議も必要）</li> </ul> <p>&lt;仕事づくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援を「仕事化」する（ファミサポのマッチング）</li> <li>→安心して子供を預けられるように資格制度を設ける（制度化）</li> </ul>	都市計画課、高齢者支援課、こども政策課 等

◆職員ワークショップ結果概要③

分野	重要テーマ（市民WSで整理された論点に基づく）	意見概要（取り組み案）	連携等、係ることが考えられる担当部署
産業振興 保健福祉	障がい者の社会参加を進める～学校の負担を軽減する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度を周知の強化（中・高で進路を考える際の情報として）</li> <li>・障害を持つ大人が、障害を持つ子どもを支援する（企業単位ではマクドナルドの取組が画期的、間接的に雇用創出にもつながる）</li> <li>・現在シルバー人材センターが行っている事業（草刈り等）に障がい者も参画する</li> </ul>	商工振興課、障がい者支援課、こども政策課、保育課、高齢者支援課
保健福祉	地域で高齢者介護を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー人材（障子貼り、枝刈り、電球交換）＋買い物支援</li> <li>・高齢者と一緒に散歩する</li> <li>・傾聴、朗読</li> </ul>	高齢者支援課、民生委員
保健福祉	様々な人が子育てボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア等に関わる仕組みやノウハウなどをパンフレット等を活用してPR →小さい頃から様々な人と接することで偏見をなくす</li> <li>・高齢者、外国人も地域とつながるチャンネルとなる</li> <li>・高齢者の集いに子どもを招待する</li> </ul>	企画政策課、町内会・老人会・こども会の連携
保健福祉	親子・外国人のたまり場/居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やる気のある人と活動拠点をつなぎ、ノウハウを伝える 例：こども食堂、親子のたまり場</li> </ul>	子ども政策課
教育・文化	対面とリモートの適切な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーWi-Fiアクセスポイントの増設（平等なりもート教育環境の整備）</li> <li>・リモート教育のモデルケースづくり（課題解決のための実証実験）</li> <li>・オリジナル学習アプリの開発（民間企業と提携し、あきる野らしさがあり、地元への愛着を深める教材を開発する等）</li> <li>・家庭でのリモート学習状況の事例紹介（市の広報で学習環境の整え方やリモート学習のメリットを発信）</li> </ul>	教育部、市長公室
教育・文化	地域での健全育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所となる施設の利用促進（児童館・学童の認知度と利用意向を高めるための取り組みを検討、こども食堂の運営費補助等）</li> </ul>	健康福祉部、教育部
教育・文化	スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Newスポーツ（スケートボードやBMX等）の専用施設整備（空き家空き地を用地都市、施設利用料を維持費に充てる等）</li> <li>・リバースポーツ来訪客誘引に向けた動画配信</li> <li>・大規模スポーツイベントの開催（現状の「スポーツレクリエーション」を、商店街等を巻き込んで大規模化）</li> </ul>	スポーツ推進課、都市整備部、市長公室、商工振興課